「屯田いたわりんく」の思い

「屯田いたわりんく」の、労わる(いたーわる)という言葉には、親切に接する・暖かく接する・大切に世話をする・手当てを加える・骨をおる等の意味があります。困っている人や何かに取り組んでいる人の為に、無

償の気持ちで骨をおることを惜しまず、支えになるような活動を通じて、屯田地域でお互いを気遣い、大事にしていける町作りを目指すため、屯田の介護事業所をはじめ、様々な業種の方と屯田地区の住民が、手を取りあいながら輪となり、つながっていけるような願いを込めて名付けられました。

平成28年2月25日に開催された屯田いたわりんくに参加してきました。

札幌市北区第3地域包括支援センターの梅村のり子さんが「介護保険制度改正とこれからの“地域”の支え合い」というテーマで講演されていました。

株式会社ハナミズキ

訪問看護ステーションつぼみ

〒002-0854

札幌市北区屯田4条7丁目7-30

TEL: 011-769-0151

FAX: 011-769-0591

E-mail: tsubomi@white-love.co.jp

HP: http://www.white-love.co.jp/

ハナミズキ

愛するあなたへ

2016年3月

執筆活動中！

訪問リハを利用中の伊丸岡壽信さん著の「あなたはひとりじゃない」という本です。「Aさん、Bさん共にパーキンソン病であってもそれぞれ病状が違うし悩みも違うので助け合うことが難しい病気。この本を読んで少し

でも心強くしてもらえたら」という気持ちで書かれたそうです。パーキンソン病の症状にはよだれがでる、腰を曲げて歩く、などの症状があるため人前に出たくない、引きこもる人が多い。伊丸岡さんは「パーキンソン病になったことで、それまでの生き方とは別の『使命感』を持って生きている」とおっしゃっています。現在、2冊目を精力的に執筆中です。

屯田いたわりんく発足！

皆さんが、住み慣れた地域で生活を続けていけるようにサポートを心がけているつぼみですが、ひとつの事業所だけの力では十分ではありません。ご本人の頑張り、ご家族の手助け、他の事業所や近隣の方々など様々な人の協力が必要となります。

そこで、居宅介護支援事業所まきたのケアマネジャー渡邊裕力さんの呼びかけで、屯田に事業所を構えている方々の交流がはじまりました。

＜平成27年8月＞
12事業所37名での「飲みニケーション」
＜平成27年11月＞
北区のケアマネジャーさんも含め
総勢72名での事業所紹介

＜平成28年2月＞
屯田地区の社会資源についての
勉強会(53名参加)

この活動を通じ、学びと交流を深めながら事業所間のつながりを強め、地域の皆さんのお役にたてるように、努力していきます。今は屯田での活動ですが、他の地域からも注目されているそうです。そのうち皆さんのお住まいの地域にも広まっていくかもしれません。みんなで力を合わせよりよい地域づくりを目指しましょう。